

ー 第4回フィンランド留学オンライン説明会 ー

フィンランド留学 オンライン座談会 vol.2

2020年7月16日 (木) 14時~15時

主催：フィンランドセンター

【本日の流れ】

- 14:00 開会
- 14:05-14:20 登壇者紹介
- 14:20- 対談&質疑応答
- 15:00 閉会



フィンランドセンター
アカデミックリサーチ・コーディネーター
原あかり



フィンランド大使館 商務部
(Business Finland)
フィンランド政府観光局 プロジェクト・コーディネーター
ノーラ・シロラ

Team
FINLAND

- フィンランド大使館
- フィンランド大使館商務部
(Business Finland)
- フィンランドセンター
- 在日フィンランド商工
会議所(FCCJ)



学術(Science)



文化(Culture)



高等教育(Higher Education)

フィンランドの教育制度と留学



- フィンランドの高等教育機関（総合大学(yliopisto)と応用科学大学(ammattikorkeakoulu)）での留学は次ページへ

(参考) 学士課程: 3年～
修士課程: 2年～



Photo:Suomi Finland

- 未成年（18歳以下）の単身留学は基本的にNG。親の転勤・留学などであれば子の帯同も可能。

また、高校生での単身留学の場合は、国際的に認められた組織（ライオンズクラブ、YFU、AFU、ロータリークラブなど）での学生交換留学派遣制度を利用すれば可能（1年程度）。

フィンランド留学の種類

学士号・修士号 (総合大学・応用科学大学)		博士号 (総合大学)	その他:短期留学 (ワーホリは未締結)
半年～1年	1年以上の長期	短期～長期	最大90日間
<p>①交換留学 ：在籍する大学がフィンランドの大学と提携している場合、学内選考等を経て決定。</p> 		<p>正規留学 (学位取得留学)</p>	<p>受入先による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィンランドの大学が開催するサマースクール (2～3週間) ・国民成人学校 (<i>kansanopisto</i>) 夏季大学 (<i>kesäyliopisto</i>) 公開大学 (<i>avoin yliopisto</i> / <i>avoin ammattikorkeakoulu</i>) 労働者教育センター (<i>kansalaisopisto</i> / <i>työväenopisto</i>) など生涯教育センターでの言語、IT、手芸等講座受講 ・フィンランドセンター主催カルチャー留学 (春・秋各1週間)
<p>②Visiting Student/ Free Mover</p>  <p>：在籍する大学に協定校がなくても単独で出願可能。留学先大学では単位互換も可能。Free Mover枠ではインターンや論文執筆時期の滞在もあり。</p> <p>(※全ての大学・専攻が留学生枠を設けている訳ではないので要注意)</p>		 <p>Photo:Suomi Finland</p>	

テーマ：留学のきっかけ

・Q1：留学のきっかけと大学選定の決め手は何ですか？

参考:専攻分野別の大学検索サイト <https://studyinfo.fi/app/#!/selailu/aihe>



：当時、フィンランドの大学は外国人でも学費が無料だったので、なぜフィンランド政府はそれが可能かという面で移民政策として社会政策を中心に研究したいと思い、フィンランド留学を決意しました。中でも、アクセスの良さと学びたい社会科学部があるタンペレ大学に出願をしました。



：もともとタンペレ出身ということもあり通いやすい大学であったとともに、大きな大学なので幅広い分野の授業が取れるので将来どんなキャリアを目指すのかわからない自分にとって魅力的でした。結局は、経済学部に入る傍ら、日本語を勉強し自分なりの切り口で勉強しました。

テーマ：事前準備

- ・ Q2：留学に必要な語学力（英語・フィンランド語）
はどのくらいですか？

また、渡航前のオススメの言語学習法は？

参考：英語での留学時 IELTS/TOEFL等言語要件

(IELTS 6-6.5, TOEFL pBT 550-580, iBT 72-92程度)



：英語力は、欧米に留学するのと変わらないレベルが求められます。英語で履修する場合、フィンランド語能力は問われませんが、せっかくフィンランドに留学するので現地語を学んだ方が便利で楽しいです。留学後もフィンランドに滞在し、仕事をする場合、尚更フィンランド語があった方が有利です。渡航前のフィンランド語学習には最近ではアプリや日本語で書かれたフィンランド語の教本もあるので利用してみてください。



：英語で受けた授業はマーケティングが主でしたが、図などを用いながらわかりやすい授業だったのでさほど高度な英語がなくても大丈夫だという印象でした。2年間くらい日本語を学んでから来日しましたが日常生活で重要な言い回しなども含め、実際に会話をし、間違えてもいいので実際に積極的に使う姿勢が言語学習では必要なことだと思います。

テーマ：現地での学生生活

・Q3：印象深かった授業を1つ教えてください。



：前回の座談会で主専攻だった社会政策・福祉の授業を例に挙げたので、今回は、Culture Conversationの授業について紹介します。この講座では国籍の異なる3人1組（フィンランド人、スペイン人、日本人）で自由に活動を計画してお互いの文化について学び、レポートを書いて提出という授業でした。先生からは特定のお題も与えられず、自分たちが主体的に動くことが求められました。



：ビジネスの授業で、フィンランドの大手家具メーカーの方に講義をしてもらい、その後その企業向けに新しい戦略を提案し、工場訪問もしました。フィンランドでの授業は理論的な内容が主でしたが現実社会の問題解決のために手と足を使い、現場を訪れる授業も重視されている印象です。

テーマ：現地での学生生活

・Q4：学費はいくらくらいかかりますか？ (奨学金の有無など)

参考:4,000-18,000EUR(2019/2020)で大学・専攻による

<https://www.studyinfinland.fi/scholarships/fees-and-costs>

博士課程及びフィンランド語・スウェーデン語で履修する学士・修士課程はEU/EEA
圏外からの学生も無料(2020年現在)



：学費は、本当に大学や専攻によって様々なので、大学ウェブサイトを確認してみてください。なお、奨学金は割と敷居が低く取得できます。1年目は合格通知受理から●日以内に承認すれば▲%減免があったり、2年目以降は前年のGPAや成績を元に減免率が決定することもあります。なので、費用がネックで留学を諦めないでください。

テーマ：現地での学生生活

・Q5：留学中の生活費はどのくらいかかりますか？

参考：居住地や暮らしぶりによりますが€700 - €900/月（約84,000円～10万8,000円）とされています。
（食費、家賃、旅費、海外保険等含む。授業料除く。） <https://www.studyinfinland.fi/scholarships/fees-and-costs>

月々の出費例

家賃（電気・水道・通信費込み）：3万円

食費：4万円

海外旅行保険：2万円

移動費・旅費：1万円

学生ユニオン費・スポーツ施設使用料：1,500円

携帯電話使用料：2,000円



：野菜や果物は量り売りでほしい量だけ購入できるので自炊をすれば安く済む印象でした。学生割引が交通機関や学食での割引が効くのでお得です。



：家賃や生活費は都市によって幅広いと思います。日本より安いものは、食材（果物、野菜、乳製品、パンなど）で外食をすると高くなります（学食は安く1食300円程度）。交通機関は学生割引がありリーズナブルです。

テーマ：現地での学生生活

・Q6： 留学中、ボランティアやインターンはどのように探しましたか？



：やりたいことは、友人（フィンランド人、留学生問わず）に話していたのでいいものがあった時に教えてもらうことができました。2つのボランティアを経験し、タンペレのソマリア難民シェルターでの活動とスペインでのエコロジー&アートイベント活動のため夏休みに2週間程度滞在しました。



：インターンやボランティアは日本で体験しました。フィンランドでボランティアなどをしたければ、直接インターン先に連絡して自分がどういう貢献ができるか説明して自分からアピールすることが大切です。アルバイトは、約5年間レジをしました。インターネットの募集サイトや大学のニュースレター、先輩に聞いたり企業に直接コンタクトもしました。履歴書をしっかり書いて、アピールしましょう。

テーマ：現地での学生生活

・Q7：知っておくといいフィンランドのマナーやルールは何ですか？

(外国人目線でフィンランド・日本の留学でびっくりしたこと)



：フィンランド人は相手の言っていることをよく聞くのが印象的で、相手が最後まで話し終えてから発言をすることが日本人のコミュニケーションスタイルとも似ていました。一方で、公共の場（バス、電車など）で携帯電話で話してもよかったり、握手の力が強く、目を見て話すのが印象的でした。フィンランド人がそうするように、思ったことはきちんと伝えることが重要だと思います。



：日本と似ていて沈黙があっても問題なく、黙っているのは怒っているわけではありません。スモールトークの習慣はなく、意見もはっきりと言い（誘われても行きたくなければそのように伝えます）、日本のように空気を読むような習慣はありません。

テーマ：現地での学生生活

・Q8： フィンランドの冬が心配です。 どのように乗り越えましたか？



：滞在は1年ということもあり毎日が気づきと感動の連続で毎日が新鮮でした。冬は、オーロラやダイヤモンドダストが見られたり、サウナのありがたさや凍った湖上でのスケートやクロスカントリースキーなど楽しいことが多くあり、ポジティブな面にフォーカスすると良いと思います。フィンランドの冬は全く辛くありませんでした。



：外が寒くても建物の中は暖かくて快適です。なので服装は重ね着が便利で、羊毛糸のソックスはフィンランド人に教えてもらって自分で編んでも良いと思います。冬は日照時間が短く、屋内で過ごすことが多いのでインテリアにも凝ったり、友人と屋内で楽しむほか、外で体を動かしてアクティビティをすることもオススメです。

テーマ：現地での学生生活

・Q9：日本とフィンランドの大学生生活の違いは何ですか？



：フィンランドの大学生は、独立した一個人であることが前提の印象で、主体性が求められていました。例えば時間割も授業によって回数や時間帯が異なりますが自己管理でしたし、学びたいことを伝えれば大学や先生がサポートしてくれる環境がありました。大学生だから学べたり機会のあることも多くあり、学生としての特権をうまく利用し、受け身の姿勢ではなく自分から積極的に動くことが重要だと感じました。



：日本の場合は大学の課題の内容にしても指示が多くある印象でしたがフィンランドでは自分の興味に応じた、より自由な学びがあると感じました。また、自分が責任をとって勉強をするのがフィンランドらしい学び方であると思います。フィンランドの大学では部活はありませんが様々なアクティビティー（パーティー、遠足、企業訪問など）があるので積極的に参加してみてください。

テーマ：留学後

・Q10：留学後の就職活動やキャリア形成について 教えてください。（例：教育と進路の関連性など）



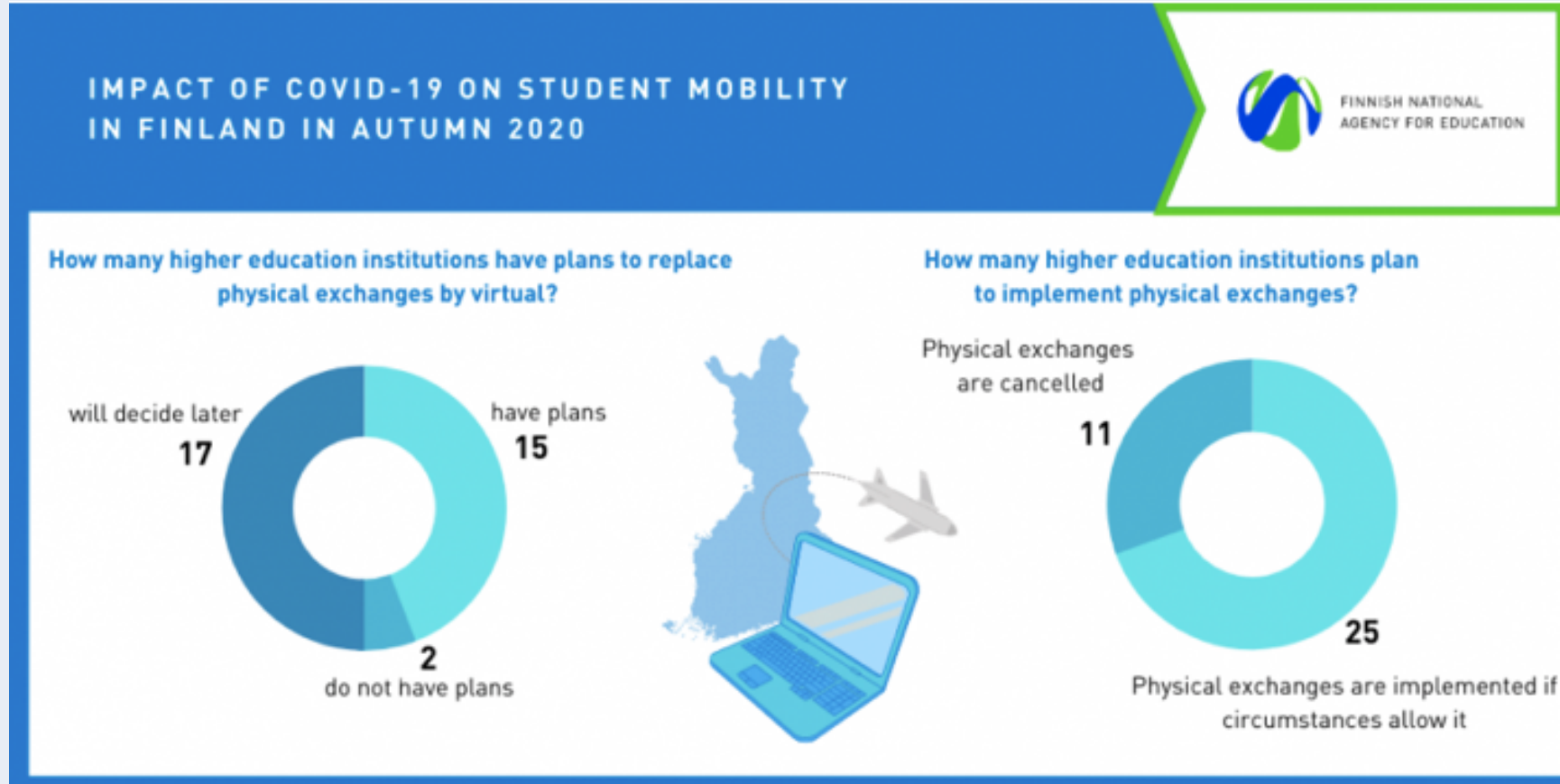
：一外国人として無料で留学させてもらい、様々な学びをさせてもらったフィンランドにいつか恩返しをしたいと思っていました。一方で、留学後はアイルランドに渡り、現地でフィンランドとのつながりも保ち続けましたし、一歩引いてEUの中でのフィンランドという違う視点を得ましたし、フィンランドに絞らないことでその後のキャリア選択に関しても幅は広がったと思います。



：留学や海外経験は長所になると思います。そのおかげで現在の仕事につながっていると感じています。将来何をしたいかわからない場合でも、様々な経験を積んで挑戦してみると良いと思います。フィンランドで就職するには就職時点で経験が求められることもありますが、自分のパッション（情熱）を示し、目指したい仕事やキャリアのために努力することが大切だと思います！

参考：新型コロナウイルスによる大学生生活への影響

- 詳細は国家中央教育委員会（Finnish National Agency for Education）や留学先大学のウェブサイト等をご確認ください。



フィンランド留学お役立ちリンク

- 在留許可申請について（フィンランド大使館ウェブサイト）

<https://finlandabroad.fi/web/jpn/ja-residence-permits-to-finland>

- StudyinFinland: 大学リスト、出願、留学生活など全般

<https://www.studyinfinland.fi>

- StuyInfo: 出願（併願）手続き、大学情報等が概要全般

<https://studyinfo.fi/wp2/en/>

- 教育文化省: 教育制度、政府奨学金（博士号）、統計等

<https://www.oph.fi/en>

- 日本文部科学省: 奨学金、留学制度等

<https://www.jasso.go.jp>

- トビタテ！留学JAPANフィンランド留学ガイド

<https://tobitate.mext.go.jp/countryguide/finland/>

フィンランドの各大学が独自の奨学金制度を設けていることが多いので、各大学ウェブサイトで調べてみてね！



KIITOS PALJON!

	Finnish Institute in Japan フィンランドセンター	
	FIN	2 0
		2 0
	2 0	
	2 0	JPN

 @finstitutejapan

 @finstitutejapan

 @finstitutejp


Finnish Institute in Japan
フィンランドセンター

留学に関するお問合せ：
science@finstitute.jp

過去のセミナーのアーカイブや留学情報等：
<http://www.finstitute.jp/ja/プロジェクト/高等教育/>

○フィンランドの
高等教育に関する
セミナー、イベント
次回のTeam Finland
留学座談会リレー



8月20日(木) 14時~15時
在日フィンランド商工会議所(FCCJ)
アンティ・クンナスさん

本日の事後アンケートにご協力をお願いします▼



最新情報はフィンランドセンターSNSにて！